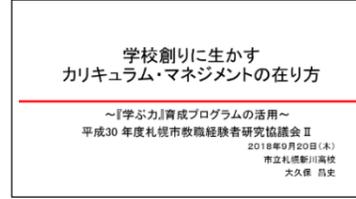


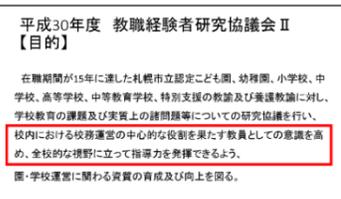
※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

部門名： 校内研修プログラム開発・実践部門	エントリー名： 市立札幌新川高等学校 大久保昌史 平成 29 年度第 4 回中堅教員研修
活動名： 主題： 全校的視野に立つ教員育成 副題： Nits 研修映像を活用した演習の実践	
解決すべき課題： 札幌市教育委員会では、札幌市教職経験者研究協議会Ⅱの目的として、在職16年目の教員を対象に、校内における校務運営の中心的な役割を果たす教員、いわゆるミドルリーダーとしての意識を高め、全校的な視野に立って指導力を発揮できるような教員の育成を目指した。特に、「学校創りに生かすカリキュラム・マネジメントの在り方」について取り上げ、3日間の研修を行った。その1日を担当し、業務を遂行した。	
目標・方針： ※課題を解決するためにどんなストーリーやシナリオを構想して、活動内容を組み立てたのか、記載してください。	
校内における校務運営の中心的な役割を果たす教員としての意識を高め、全校的な視野に立って指導力を発揮できるよう学校経営に関わる資質の育成及び向上を図る。	
活動内容： 講義内容は、昨年度受講の中央研修の内容から「カリキュラム・マネジメント」を中心に講義。指導者側と受講者側という関係性において、一種の対立関係や上位下位という認識を取り除いた講義形式＋ワークシートによって進めることを意識。特に、NITS 校内研修シリーズの研修教材を活用し、外部理論の活用を試みた。	
活動の成果： ※課題設定に対して、どんな影響、変化あったか、参加者の声など客観的な情報・データとともに記入して下さい。	
この実践を通して、「包括的な問題解決」と共に、「建設的な議論」についても、深く考えることができた。今回の研修における議論が深まったのには、次の要素が絡んでいると認識した。「①ほぼ別々の学校から集まった教員で構成された集団であること」「②研修内で発した言葉においては、外部には伝えないことが暗黙知として認識されていること」「③研修会として成立させるために建設的な議論を要求されていること」それぞれが、自分の利益だけを目的にしているのではなく、勤務校がさらに発展できるにはどのような改善が必要なのかを真剣に考え、また、勤務校に通う生徒達のためになっているかを常に考えている真摯な姿を見ることができた。だからこそ、狭い視野で考えているのではなく、自分の担当外の業務における問題点・課題点が気になり、連動して解決できるのではないかという期待を含めた考え方・発想が浮かぶのではないだろうか。そこには「どうせ無理」や「意味がない」などのような消極的な発想ではなく、「どのようにしたら(理想の姿に)近づけるのだろうか」といった、真摯な建設的な考え方が根底にあると考えられる。 受講者の感想「参加者が同一の高校であっても、別の高校であっても、課題となっているポイントが類似していることが多いことに驚いた。また、短時間で付箋の数を増やすことができなければ、レバレッジポイントを探しにくく、意味の持たない結果に繋がりがちな予感がする。」	
アピールポイント (アイデアや工夫)： ※3～5 つ程度、箇条書きしてください	
①nits の校内研修シリーズを紹介できた。②指導者側と受講者側という関係性において、一種の対立関係や上位下位という認識を取り除いた講義形式によって進められた。③自分が研修で学んだことを、再認識・整理することができた。④自分の理解度の低さや、勉強不足を痛感した。	

<写真、図表添付欄>



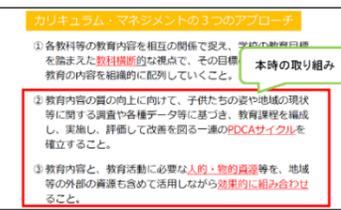
① 研修タイトル表紙



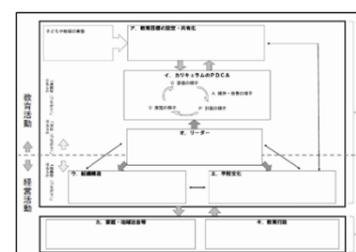
② 本研修会の目的確認



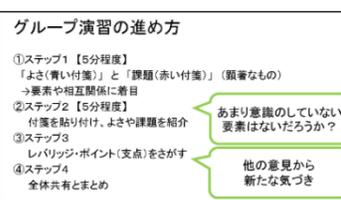
③ NITS 研修映像の活用



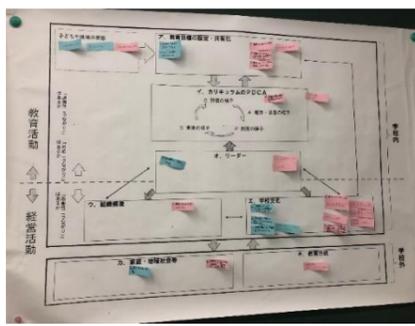
④ 研修資料より、本時の取り組みの確認



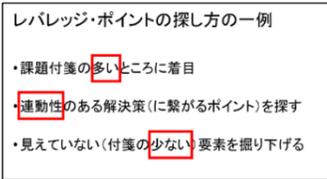
⑤ 研修活用シートの説明



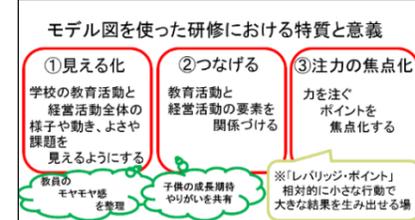
⑥ 演習の考え方の補足説明



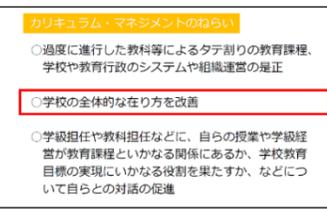
⑦ 実際の演習シートの様子



⑧ 作業ポイントの補足



⑨ モデル図の特質と意義を説明



⑩ 本時のまとめ